

令和5年度教育学類 私費外国人留学生入試

「小論文」問題

実施時間 10:00～11:30

解答上の注意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題には小問が3つあります。所定の解答用紙を使って解答してください。解答には日本語を用いてください。
3. 下書きは（下書き用）とある用紙を用いてください。（下書き用）とある用紙に記入された内容は、採点の対象になりませんので、解答を記入する際に十分注意してください。
4. 監督者からの指示に従い、解答用紙の所定の欄に受験番号と名前を忘れずに記入してください。
5. 「やめ」の合図があったら、すぐに書くことをやめて、筆記用具を机の上に置いてください。解答を書き続けた場合には不正行為とみなします。
6. 解答用紙は回収します。問題冊子と下書き用紙は各自持ち帰ってください。

※不明な点があったときや気分が悪くなったときは、手を挙げて知らせてください。

問題 次の文章を読んで、下記の問に答えなさい。（日本語で解答すること）

中央教育審議会答申において、学習指導要領等改訂の基本的な方向性が示されるとともに、各教科等における改訂の具体的な方向性も示されている。今回の中学校技術・家庭科の改訂は、これらを踏まえて行われたものである。

答申の中で、中学校技術・家庭科の内容の見直しについては、次のように示されている。

…… 家庭科、技術・家庭科家庭分野においては、普段の生活や社会に出て役立つ、将来生きていく上で重要であるなど、児童生徒の学習への関心や有用感が高いなどの成果が見られる。一方、家庭生活や社会環境の変化によって家庭や地域の教育機能の低下等も指摘される中、家族の一員として協力することへの関心が低いこと、家族や地域の人々と関わること、家庭での実践や社会に参画することが十分ではないことなどに課題が見られる。また、家族・家庭生活の多様化や消費生活の変化等に加えて、グローバル化や少子高齢社会の進展、持続可能な社会の構築等、今後の社会の急激な変化に主体的に対応することが求められる。

目標とする資質・能力については、実践的・体験的な活動を通して、家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての科学的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けるとともに、生活の中から問題を見いだして課題を設定しそれを解決する力や、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする態度等を育成することを基本的な考え方とする。

出典：文部科学省『中学校学習指導要領解説 技術・家庭編』2017年、5～6頁
(一部改変)

問1 文章の中に出てくる次の言葉を説明しなさい。

- (1) 学習指導要領
- (2) 家庭や地域の教育機能の低下
- (3) 持続可能な社会

問2 今回（2017（平成29）年）の学習指導要領の改訂のポイントを簡潔に説明しなさい。

問3 学校において「家庭」を教育することの是非について、自分の考えを述べなさい。